

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和3年度)

様式

作成日 2021/10/29

最終更新日 2021/10/29

記載事項	更新の有無	記載欄
情報基準日		2021/10/1
国立大学法人名		国立大学法人帯広畜産大学
法人の長の氏名		奥田 潔
問い合わせ先		戦略企画課企画係 (TEL:0155-49-5300) (E-mail:kikakuka@obihiro.ac.jp)
URL		http://www.obihiro.ac.jp

【本報告書に関する経営協議会及び監事等の確認状況】		
記載事項	更新の有無	記載欄
経営協議会による確認		<p><b>【経営協議会からの意見（総評）】</b></p> <p>帯広畜産大学の「国立大学法人ガバナンス・コード」に関する全原則の適合状況を確認したが、これまでの経営協議会において報告されている内容であり、異議はない。</p>
		<p><b>【経営協議会からの意見】</b></p> <p><u>(補充原則1-3⑤)</u></p> <p>積極的な取組で外部資金を獲得する取組は賛成だが、一般的な株式会社のように目先の利益ばかりを追求するのは国立大学の方向性とは異なると考えている。成果が拙速に求められるような研究ばかりではなく、将来の学術研究の基礎となる知見を生み出す研究あるいは人材育成をしていくことが国立大学の役割であることを念頭にこれからも取り組んでいただきたい。</p> <p><b>【意見への対応状況】</b></p> <p>本学は、「食を支え、くらしを守る」人材の育成を看板として掲げ、実学を基調として、食の安全・安心を担保するため、感染症対策、家畜の生理機構の解明といった基礎研究や家畜の生理機構の解明に基づく生産性の向上といった応用研究のように生命や生活を保障するための多くの課題を見出し、解決するための多様な教育・研究を展開しています。今後も掲げたミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会において、日本はもちろん海外でも多方面で活躍が可能な人材を育成します。</p>

<p>監事による確認</p>		<p><b>【監事からの意見】</b></p> <p>私共監事は、ガバナンスコードの各原則に対する本学の「現在の実施状況の概要」を検討し、監事の認識と一致していることを確認した。なお、一部未実施の原則等について監事の所見を下記に示しておく。</p> <p>補充原則 1-3-③（一部未実施）</p> <p>本学では明文化された教員・職員の総合的人事方針は公表していないが、ダイバーシティ担当の理事をおき、採用昇進にあたりダイバーシティの確保に配慮し、また男女共同参画推進の基本方針を策定するなど、原則が求める環境整備に努めている。三大学経営統合後は、原則が求める総合的な人事方針が公表されると認識している。</p> <p>補充原則1-3-⑤（実施）</p> <p>外部資金の導入に関する本原則については、企業等集積プラットフォームや研究開発コンソーシアムの形成など新たな取組を行っている。三大学経営統合後は、農工商の連携融合を活かした積極的な取組に期待している。</p> <p>補充原則 1-3-⑥（一部未実施）</p> <p>総合的な人事方針の公表については、三大学間で検討が行われており、経営統合後に公表されると認識している。</p> <p>補充原則 1-4-②（一部未実施）</p> <p>法人経営を担う人材の育成について、副理事の新設や国立大学協会が実施する各種研修に参加させるなどの取組を行っており、三大学経営統合後に経営人材の育成方針を公表することになっている。新たな経営人材育成方針では、幹部教職員に要請されるスキル等の明示、法人内外での多様な研修機会の確保、スキル獲得や研修へのインセンティブ、人事評価への反映など、キャリアパスを具体的にイメージできる方針策定が望まれる。</p> <p>補充原則 3-4-1①（一部未実施）</p> <p>常勤監事の設置については、令和4年度から実現する。令和4年度から監事は常勤を含む4名体制となり、国立大学法人で最も充実した体制になることが期待される。この充実した監事体制を有効に活用する監事監査の在り方を検討していただきたい。</p>
		<p><b>【意見への対応状況】</b></p> <p>ご意見を踏まえ、経営統合後の人事方針や監事監査の在り方等の検討を適切に進めます。また、外部資金の導入に関しても、本学として、引き続き充実させるとともに、経営統合後は三大学の連携融合を生かし、積極的に取り組みます。</p>
<p>その他の方法による確認</p>		<p>その他の方法による確認は行っていません。</p>

【国立大学法人ガバナンス・コードの実施状況】		
記載事項	更新の有無	記載欄
ガバナンス・コードの各原則の実施状況		<p>帯広畜産大学は、下記に説明する原則を除き、全ての原則を実施しています。</p>
ガバナンス・コードの各原則を実施しない理由又は今後の実施予定等		<p><b>【補充原則 1-3③、1-3⑥】</b></p> <p>現在、帯広畜産大学では、総合的な人事方針は策定していないが、教員については「帯広畜産大学教員の人事基本方針」、職員については「帯広畜産大学事務職員の人事に関する基本方針」を個別に策定しています。</p> <p>また、適切な年齢構成を実現するために若手研究者の採用及びダイバーシティの確保については、人事の重要事項として、法人の目標に掲げるとともに、男女共同参画推進のための基本方針の策定、ダイバーシティ担当理事を配置する等、学長のリーダーシップの下、積極的に推進しています。</p> <p>なお、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合に向けて、新法人の経営体制を検討中であり、従来の三大学の教職員の人事基本方針に加え、新法人の人事ポリシー、従来取り組んできた重要事項、国際性、障がいの有無などの観点を含めた総合的な人事方針を三大学で策定する予定です。</p> <p><b>【補充原則 1-4②】</b></p> <p>帯広畜産大学では、将来の経営を担う候補者として「副理事」という職位を新設し、適任教員を同職に任命することで、早い段階から経営の感覚を身に付けさせ、将来の経営者育成を実践しています。</p> <p>また、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合に向けて、新法人の経営体制を検討中で、国立大学協会等が実施する多様な啓発の機会への積極的に参加させる計画や、経営を担う職員の育成手法等を含めた経営人材の育成方針を三大学で策定する予定です。</p> <p><b>【補充原則 3-4-1①】</b></p> <p>帯広畜産大学は、オンライン会議システムの活用等により綿密に連携を図ることで、非常勤であっても監事の監査業務を十分に果たしています。</p> <p>なお、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合で誕生する新法人においては、法人規模が拡大することから、監事のうち1名を常勤とします。</p>

【国立大学法人ガバナンス・コードの各原則に基づく公表内容】		
記載事項	更新の有無	記載欄
原則 1-1 ビジョン、目標及び戦略を実現するための道筋		<p>帯広畜産大学長は、ミッションを踏まえ、その実現のためのビジョン、目標及び具体的な戦略を策定しています。</p> <p>また、戦略の策定にあたっては、外部識者である非常勤理事を配置するとともに、経営協議会や地域懇談会、大学主催の行事に参加する市民、共同獣医学課程懇談会における学生や外部ステークホルダーからの意見聴取を通して、社会からの要請の把握に努めています。</p> <p>さらに、実現のためのビジョン、目標及び具体的な戦略を実現するための行動計画を策定し、公表しています。</p>
補充原則 1-2④ 目標・戦略の進捗状況と検証結果及びそれを基に改善に反映させた結果等		<p>帯広畜産大学長は、目標・戦略の進捗状況と成果を検証し、「各事業年度に係る業務の実績に関する報告書」として取りまとめた上で公表しています。</p> <p>さらに「帯広畜産大学の総合的な内部質保証システム」により、目標・戦略の進捗状況の検証を基に改善方策を策定し、次年度の年度計画に反映した上で、その結果を公表しています。</p>
補充原則 1-3⑥(1) 経営及び教学運営双方に係る各組織等の権限と責任の体制		<p>帯広畜産大学は、国立大学法人法に則り、役員会、経営協議会、教育研究評議会を規定し、それぞれの規則において審議事項等の権限と責任を明確化し、自主的・自律的・戦略的な法人経営を可能とする体制を構築しています。</p>
補充原則 1-3⑥(2) 教員・職員の適切な年齢構成の実現、性別・国際性・障がいの有無等の観点でのダイバーシティの確保等を含めた総合的な人事方針		<p>現在、帯広畜産大学では、総合的な人事方針は策定していないが、教員については「帯広畜産大学教員の人事基本方針」、職員については「帯広畜産大学事務職員の人事に関する基本方針」を個別に策定しています。</p> <p>また、適切な年齢構成を実現するために若手研究者の採用及びダイバーシティの確保については、人事の重要事項として、法人の目標に掲げるとともに、男女共同参画推進のための基本方針の策定、ダイバーシティ担当理事を配置する等、学長のリーダーシップの下、積極的に推進しています。</p> <p>なお、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合に向けて、新法人の経営体制を検討中で、従来の三大学の教職員の人事基本方針に加え、新法人の人事ポリシー、従来取り組んできた重要事項、国際性、障がいの有無などの観点を含めた総合的な人事方針を三大学で策定する予定です。</p>
補充原則 1-3⑥(3) 自らの価値を最大化するべく行う活動のために必要な支出額を勘案し、その支出を賄える収入の見通しを含めた中期的な財務計画		<p>帯広畜産大学では、学長が策定するミッションを果たし、現行の法令等の枠組みの中で、大学法人としての存在価値を最大化するための支出額を試算し、その支出を賄える収入の見通しを含めた中期的な財務計画を策定しています。</p>
補充原則 1-3⑥(4) 及び 補充原則 4-1③ 教育研究の費用及び成果等（法人の活動状況や資金の使用状況等）		<p>帯広畜産大学は、各年度の財務諸表、決算報告書及び教育研究等の活動状況と併せて財務状況の分析結果をグラフ等を活用して解説した財務レポートを公表することでコストの見える化を進め、法人の活動状況や資金の使用状況等を分かりやすく公表しています。</p>

<p>補充原則 1 - 4 ② 法人経営を担う人材を計画的に育成するための方針</p>		<p>帯広畜産大学では、将来の経営を担う候補者として「副理事」という職位を新設し、適任教員を同職に任命することで、早い段階から経営の感覚を身に付けさせ、将来の経営者育成を実践しています。</p> <p>また、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合に向けて、新法人の経営体制を検討中で、国立大学協会等が実施する多様な啓発の機会への積極的に参加させる計画や、経営を担う職員の育成手法等を含めた経営人材の育成方針を三大学で策定する予定です。</p>
<p>原則 2 - 1 - 3 理事や副学長等の法人の長を補佐するための人材の責任・権限等</p>		<p>帯広畜産大学長は、策定したビジョンを実現するために、理事、副学長、副理事、学長補佐、部門長等の学長を補佐するための人材を適材適所に学内外から選任・配置し、自らの意思決定や業務執行をサポートする体制を整備しています。</p> <p>また、新規に将来の経営を担う候補者として副理事という職位を新設し、教員を同職に任命することで、長期的な視点に立った経営人材の計画的な育成・確保のための取組を実践しています。</p> <p>なお、各補佐人材の責任・権限等については各規則において明確にし、公表しています。</p>
<p>原則 2 - 2 - 1 役員会の議事録</p>		<p>帯広畜産大学の役員会は、法人の重要事項について十分な検討・討議を行うことで、学長の意思決定を支え、法人の適正な経営を確保しています。</p> <p>また、役員会は、経営協議会及び教育研究評議会終了後直ちに開催することで、国立大学法人法で定める事項について適時かつ迅速な審議を行うとともに、議事録を公表しています。</p>
<p>原則 2 - 3 - 2 外部の経験を有する人材を求める観点及び登用の状況</p>		<p>帯広畜産大学では、男女共同参画推進のための基本方針の策定やダイバーシティ担当理事の配置によりダイバーシティを確保するとともに、医療機関・障がい者支援施設等における勤務・経営経験を有する者を非常勤理事として登用し、その経験と知見を法人経営に活用することで、経営層の厚みを確保しています。</p> <p>また、学外理事の登用に際しては、求めている人材像を明確にした上で、人材発掘及び登用を行い、その状況を公表しています。</p>
<p>補充原則 3 - 1 - 1 ① 経営協議会の外部委員に係る選考方針及び外部委員が役割を果たすための運営方法の工夫</p>		<p>帯広畜産大学の経営協議会の学外委員は、大学に関し、広くかつ高い識見を有する者のうちから教育研究評議会の意見を聴いて任命することを選考方針として明確に定め、学界、産業界、公的試験研究機関、地方公共団体の代表者等から適任者を選任することにより、多様な関係者から帯広畜産大学に期待する事項を的確に把握し、法人経営に生かすように工夫をしています。</p> <p>また、学外委員が役割を十分に果たせるよう、法人経営の重要事項を審議する戦略会議において、事前に適切な議題設定を調整し、審議の活性化を図っています。</p>
<p>補充原則 3 - 3 - 1 ① 法人の長の選考基準、選考結果、選考過程及び選考理由</p>		<p>帯広畜産大学の学長選考会議は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、本学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから、別に定める学長に必要な資質・能力に関する基準に基づき学長を選考しています。</p> <p>また、選考に際しては、教職員の意向聴取を参考にしつつも、意向投票によることなく、学長選考会議が自らの権限と責任において慎重かつ必要な議論を尽くし、適正に選考を行い、選考基準、選考結果、選考過程及び選考理由を公表しています。</p>

<p>補充原則 3-3-1② 法人の長の再任の可否及び再任を可能とする場合の上限設定の有無</p>		<p>帯広畜産大学は、ミッションを実現するために学長が安定的にリーダーシップを発揮することができるように、学長選考会議における審議を経て、学長の任期を4年としています。</p> <p>また、継続的な経営・運営体制の構築のため再任を可能とするものの、再任の任期を2年とし、引き続き8年を超えて在任することはできないと規定し、公表しています。</p>
<p>原則 3-3-2 法人の長の解任を申し出るための手続き</p>		<p>帯広畜産大学は、学長の解任を申し出るための手続きについて、「国立大学法人帯広畜産大学長選考規程」（第13条）において、解任要件、文部科学大臣への解任申出の手続き等を規定し、公表しています。</p>
<p>補充原則 3-3-3② 法人の長の業務執行状況に係る任期途中の評価結果</p>		<p>帯広畜産大学の学長選考会議は、学長の業務執行状況について、中期目標期間の計画達成状況の確認とともに、選考基準への対応、表明した所信への対応を中心に学長の業務評価を実施しています。</p> <p>評価結果は、学長に提示し、今後の法人経営の改善に生かすように助言等を行うとともに、当該評価結果を公表しています。</p>
<p>原則 3-3-4 大学総括理事を置く場合、その検討結果に至った理由</p>		<p>帯広畜産大学の学長選考会議は、令和4年度の小樽商科大学、北見工業大学との経営統合で誕生する新法人において、大学総括理事の配置も含めて、最も経営力を発揮できる経営体制の在り方を検討しています。</p>
<p>基本原則 4 及び原則 4-2 内部統制の仕組み、運用体制及び見直しの状況</p>		<p>帯広畜産大学は、コンプライアンス体制、内部監査体制、内外通報窓口等を整備し、役職員への周知や研修の実施、必要な情報システムの更新に努める等、適切に内部統制システムを運用し、継続的に見直しを図るとともに、その運用体制を公表しています。</p>
<p>原則 4-1 法人経営、教育・研究・社会貢献活動に係る様々な情報をわかりやすく公表する工夫</p>		<p>帯広畜産大学は、公共的財産として活動の透明性を確保するために、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」等に基づく適切な情報公開を徹底することに加え、入試・学生・教育・教職員・研究・国際・図書館の7つの区分のデータを経年比較したファクトブック「グラフで見る帯広畜産大学」等の公開によって、法人経営、教育・研究・社会貢献活動等の情報を分かりやすく公表しています。</p>
<p>補充原則 4-1① 対象に応じた適切な内容・方法による公表の実施状況</p>		<p>帯広畜産大学は、多様な関係者を有することを踏まえ、国民・社会との間における透明性の確保を目指しガバナンスの向上に努めるために、情報の公表を行う目的、意味を考え、適切な対象、内容、方法等を選択し、公表しています。代表的なものとして、主に学生・保護者を対象とした「帯広畜産大学パンフレット」、主に卒業生・地域社会・寄付者を対象とした「帯広畜産大学の取り組み」、主に産業界を対象とした「帯広畜産大学研究シーズ集」等を作成して公表しています。</p>
<p>補充原則 4-1② 学生が享受できた教育成果を示す情報</p>		<p>帯広畜産大学は、学生が卒業する際に、身につける必要がある知識や能力を「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」として定め公表しています。</p> <p>また、各年度実施する授業アンケートや、卒業・修了時のアンケート実施により満足度を調査し、分析結果を公表しています。</p> <p>さらに、学生の進路状況・就職者の産業別分類は、「帯広畜産大学概要」に掲載し、公表しています。</p>

<p>法人のガバナンスにかかる 法令等に基づく公表事項</p>		<p>■独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律第22条に規定する情報  <b>【組織・業務・財務の基礎的な情報及びその監査に関する情報】</b>  <a href="https://www.obihiro.ac.jp/navi-corporation-info">https://www.obihiro.ac.jp/navi-corporation-info</a>  <b>【組織、業務の評価に関する情報】</b>  <a href="https://www.obihiro.ac.jp/navi-evaluation">https://www.obihiro.ac.jp/navi-evaluation</a></p>
-------------------------------------	--	---